



2017年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2017年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 徹二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 本多 孝一

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 2017年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2017年3月期第3四半期の連結業績(2016年4月1日～2016年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年3月期第3四半期	1,226,707	△10.5	107,025	△30.8	103,263	△32.6	68,335	△34.1
2016年3月期第3四半期	1,370,517	△4.6	154,666	△15.0	153,165	△15.0	103,742	△11.0

(注) 四半期包括利益 2017年3月期第3四半期 92,061百万円 (22.5%) 2016年3月期第3四半期 75,128百万円 (△68.1%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年3月期第3四半期	72.48	72.39
2016年3月期第3四半期	110.07	109.92

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2017年3月期第3四半期	2,677,639	1,622,523	1,551,996	58.0	1,646.12
2016年3月期	2,614,654	1,587,760	1,517,414	58.0	1,609.69

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2016年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2017年3月期	—	29.00	—	—	—
2017年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2017年3月期の連結業績予想(2016年4月1日～2017年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,685,000	△9.2	150,000	△28.1	145,000	△29.2	92,000	△33.1	97.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
(注)詳細は添付資料6ページ「2. その他の情報 (3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更/会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2017年3月期3Q	971,967,660 株	2016年3月期	971,967,660 株
② 期末自己株式数	2017年3月期3Q	29,146,203 株	2016年3月期	29,292,304 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2017年3月期3Q	942,756,875 株	2016年3月期3Q	942,501,532 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）2017年3月期第3四半期（3カ月）の連結業績（2016年10月1日～2016年12月31日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3カ月）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年3月期第3四半期	430,595	△ 9.9	42,899	△ 22.9	45,168	△ 18.3	30,817	△ 20.3
2016年3月期第3四半期	478,020	△ 3.2	55,645	△ 1.1	55,286	△ 2.4	38,646	0.3

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年3月期第3四半期	32.69	32.64
2016年3月期第3四半期	41.00	40.94

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2019年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide -Growth Toward Our 100th Anniversary (2021) and Beyond-」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2017年3月期第3四半期（2016年4月1日から2016年12月31日まで）の連結売上高は1兆2,267億円（前年同期比10.5%減）となりました。建設機械・車両部門では、「戦略市場」の中近東、アフリカなどにおいて建設・鉱山機械需要は低迷したものの、中国やCISなどでの需要が引き続き好調であったことに加え、「伝統市場」の北米、欧州において一般建設機械の需要を着実に取り込んだ結果、現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高の影響により売上げは前年同期を下回りました。リテールファイナンス部門では、円高の影響ならびに中国およびオセアニアなどの資産の減少により、売上げは前年同期を下回りました。産業機械他部門では、主に自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

利益につきましては、引き続き固定費の削減や販売価格の改善などに取り組んだものの、円高および地域構成差などにより、営業利益は1,070億円（前年同期比30.8%減）となりました。売上高営業利益率は前年同期を2.6ポイント下回る8.7%、税引前四半期純利益は1,032億円（前年同期比32.6%減）、当社株主に帰属する四半期純利益は683億円（前年同期比34.1%減）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 121.7円 1ユーロ = 133.8円 1元 = 19.4円	当第3四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 106.5円 1ユーロ = 118.5円 1元 = 16.0円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	1,370,517	1,226,707	△ 10.5
建設機械・車両	1,190,371	1,077,721	△ 9.5
リテールファイナンス	40,763	36,124	△ 11.4
産業機械他	154,456	121,249	△ 21.5
消去	△ 15,073	△ 8,387	-
セグメント利益	146,978	107,837	△ 26.6
建設機械・車両	124,670	96,546	△ 22.6
リテールファイナンス	10,772	6,767	△ 37.2
産業機械他	11,993	6,449	△ 46.2
消去又は全社	△ 457	△ 1,925	-
営業利益	154,666	107,025	△ 30.8
税引前四半期純利益	153,165	103,263	△ 32.6
当社株主に帰属する四半期純利益	103,742	68,335	△ 34.1

（注）1. 前連結会計年度まで事業セグメントを1) 建設機械・車両、2) 産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を1) 建設機械・車両、2) リテールファイナンス、3) 産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の数値を当第3四半期連結累計期間の表示に組替えて表示しています。

2. 本文に記載しています売上高および利益は、すべて2016年4月から12月までの9カ月間の累計です。また、セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門の売上高は1兆777億円（前年同期比9.5%減）、セグメント利益は965億円（前年同期比22.6%減）となりました。

2015年2月から国内で展開している建設現場向けソリューション事業「スマートコンストラクション」を引き続き推進しました。コマツの「スマートコンストラクション」は、国が提唱する「i-Construction」の基準に準拠するだけでなく、オープンイノベーションも積極的に活用することでお客様の現場の安全および生産性の向上のために最適な手段の提供を進めています。この方針に基づき、昨年9月から実施している3次元測量サービスの全国の測量会社への委託に続き、同年12月には、リモコンポートによる高精度な3次元水中測量技術を有するサプライヤーとの協業も開始しました。

また、アジア地域の代理店向けトレーニング機能の強化を目指し、タイに「アジア トレーニング&デモンストレーションセンタ」を昨年11月に開設しました。20以上のさまざまなモデルの建設機械を配備し、代理店向けの商品・技術トレーニングから、販売促進として、お客さま向けの商品デモンストレーションや試乗、オペレータートレーニングに至るまで幅広い用途に対応し、同地域でのさらなる事業拡大に貢献していきます。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [A]	当第3四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	228,858	216,511	△ 12,347	△ 5.4
北米	264,007	235,775	△ 28,232	△ 10.7
中南米	165,030	146,139	△ 18,891	△ 11.4
米州	429,037	381,914	△ 47,123	△ 11.0
欧州	101,076	91,594	△ 9,482	△ 9.4
CIS	36,473	48,515	12,042	33.0
欧州・CIS	137,549	140,109	2,560	1.9
中国	48,204	57,901	9,697	20.1
アジア ※	147,119	131,098	△ 16,021	△ 10.9
オセアニア	80,746	74,092	△ 6,654	△ 8.2
アジア ※・オセアニア	227,865	205,190	△ 22,675	△ 10.0
中近東	45,995	23,276	△ 22,719	△ 49.4
アフリカ	61,616	47,000	△ 14,616	△ 23.7
中近東・アフリカ	107,611	70,276	△ 37,335	△ 34.7
合計	1,179,124	1,071,901	△107,223	△ 9.1

(注) 1. 前連結会計年度まで事業セグメントを 1) 建設機械・車両、2) 産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を 1) 建設機械・車両、2) リテールファイナンス、3) 産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の数値を当第3四半期連結累計期間の表示に組替えて表示しています。

2. ※「アジア」は日本および中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

レンタル向けを中心に新排出ガス規制関連の需要が一巡した影響を受け、売上げは前年同期を下回りました。

<米州>

北米では、レンタル向けの需要が低迷したものの、一般建機の需要が引き続き堅調に推移したことから、現地通貨ベースでは増収となりました。しかしながら、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

中南米では、ブラジルなどで建設・鉱山機械の需要が低調に推移したものの、ペルーの一部大手鉱山向けに超大型ダンプトラックの販売などがあり、現地通貨ベースでは増収となりました。しかしながら、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、主要市場であるドイツを中心に需要が堅調であることに加え、昨年度に買収したドイツのアタッチメントメーカー、レンホフ社の新規連結の効果があり、現地通貨ベースでは増収となりましたが、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

CISでは、金鉱山を中心に鉱山向け需要が引き続き増加し、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<中国>

全国的にインフラ工事が進行し、一般建機の需要が引き続き伸長したことから、売上げは前年同期を上回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、インフラ投資が好調なタイに加え、石炭価格の上昇に伴い、最大市場であるインドネシアでは鉱山機械の需要が足元で増加したものの、為替が円高に推移したことやベトナムなどで販売が減少したことから売上げは前年同期を下回りました。

オセアニアでは、鉱山機械の部品、サービスの需要を着実に取り込み、現地通貨ベースでは増収となりましたが、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、原油安を受けた政府の緊縮財政の影響などにより、湾岸諸国の需要が減少したことから、売上げは前年同期を大幅に下回りました。

アフリカでは、主要市場である南アフリカの鉱山向け需要が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

【リテールファイナンス】

リテールファイナンス部門では、円高の影響ならびに中国およびオセアニアなどの資産の減少により、売上高は361億円（前年同期比11.4%減）となりました。セグメント利益は67億円（前年同期比37.2%減）となりました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が減少したことに加え、旧コマツハウス（株）（現（株）システムハウスアールアンドシー）の連結除外による影響などにより、売上高は1,212億円（前年同期比21.5%減）となりました。セグメント利益は64億円（前年同期比46.2%減）となりました。

コマツNTC（株）では、昨年11月に開催された「JIMTOF2016」（第28回日本国際工作機械見本市）において、海外自動車市場に向けた工程集約・高効率化を実現するマシニングセンタなど、最新鋭の工作機械を出展しました。

また、ギガフォトン（株）では、今後の業務拡大に伴う人員増加と生産および倉庫スペース拡大を目的として、本年6月の完成を目指し、昨秋より新棟建設工事をスタートさせました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

<財政状態>

当第3四半期連結会計期間末は、米ドルに対して為替が前期末に比べ円安となったことに加え、たな卸資産の増加などにより、総資産は前期末に比べ629億円増の2兆6,776億円となりました。有利子負債残高は前期末に比べ439億円増の5,015億円となりました。また、株主資本は外貨換算調整勘定や未実現有価証券評価損益などの増加により、前期末に比べ345億円増の1兆5,519億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末と同率の58.0%となりました。

<キャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本が増加したものの、四半期純利益や減価償却費等により、1,465億円の収入（前年同期比637億円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、941億円の支出（前年同期比21億円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、216億円の支出（前年同期は1,130億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ278億円増加し、1,340億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

昨年4月27日に公表しました2017年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、2017年3月期の個別業績予想については修正をいたしました。詳細は、本日公表しました「個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

当連結会計年度より、会計基準アップデート2015-16「企業結合－測定期間中の修正に関する会計処理の簡素化」を適用しています。同アップデートは、企業結合が完了した後の会計期間（測定期間）中の修正について、財務諸表を遡及修正する規定を削除し、その修正金額が確定した報告期間に認識することを要求しています。同アップデートの適用による当社の財政状態および経営成績への影響はありません。

②①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2016年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2016年12月31日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（資産の部）				
流動資産				
現金及び現金同等物	106,259		134,068	
定期預金	2,212		2,298	
受取手形及び売掛金	583,390		576,893	
たな卸資産	539,611		592,139	
売却予定資産	13,388		—	
繰延税金及びその他の流動資産	141,593		140,112	
流動資産合計	1,386,453	53.0	1,445,510	54.0
長期売上債権	291,923	11.2	304,064	11.3
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	28,123		30,418	
投資有価証券	51,590		66,163	
その他	2,640		2,498	
投資合計	82,353	3.2	99,079	3.7
有形固定資産	697,742	26.7	686,343	25.6
営業権	40,005	1.5	40,107	1.5
その他の無形固定資産	63,056	2.4	60,423	2.3
繰延税金及びその他の資産	53,122	2.0	42,113	1.6
資産合計	2,614,654	100.0	2,677,639	100.0

区分	前連結会計年度末 (2016年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2016年12月31日)	
	金額（百万円）	構成比 (%)	金額（百万円）	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	144,552		201,576	
長期債務	100,364		103,469	
－1年以内期限到来分				
支払手形及び買掛金	205,411		213,282	
未払法人税等	29,310		9,541	
売却予定負債	7,057		—	
繰延税金及びその他の流動負債	214,200		213,358	
流動負債合計	700,894	26.8	741,226	27.7
固定負債				
長期債務	212,636		196,464	
退職給付債務	67,972		66,655	
繰延税金及びその他の負債	45,392		50,771	
固定負債合計	326,000	12.5	313,890	11.7
負債合計	1,026,894	39.3	1,055,116	39.4
(純資産の部)				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,243		138,205	
利益剰余金				
利益準備金	44,018		45,366	
その他の剰余金	1,300,030		1,312,306	
その他の包括利益（△損失）累計額	18,667		39,414	
自己株式	△ 51,414		△ 51,165	
株主資本合計	1,517,414	58.0	1,551,996	58.0
非支配持分	70,346	2.7	70,527	2.6
純資産合計	1,587,760	60.7	1,622,523	60.6
負債及び純資産合計	2,614,654	100.0	2,677,639	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（第3四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	1,370,517	100.0	1,226,707	100.0
売上原価	970,106	70.8	875,614	71.4
販売費及び一般管理費	253,433	18.5	243,256	19.8
その他の営業収益（△費用）	7,688	0.6	△ 812	△ 0.1
営業利益	154,666	11.3	107,025	8.7
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	2,826	0.2	2,602	0.2
支払利息	△ 6,853	△ 0.5	△ 5,692	△ 0.5
その他（純額）	2,526	0.2	△ 672	△ 0.1
合計	△ 1,501	△ 0.1	△ 3,762	△ 0.3
税引前四半期純利益	153,165	11.2	103,263	8.4
法人税等	46,984	3.4	35,189	2.9
持分法投資損益調整前四半期純利益	106,181	7.7	68,074	5.5
持分法投資損益	1,904	0.1	2,845	0.2
四半期純利益	108,085	7.9	70,919	5.8
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	4,343	0.3	2,584	0.2
当社株主に帰属する四半期純利益	103,742	7.6	68,335	5.6
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	110.07 円		72.48 円	
希薄化後	109.92 円		72.39 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日	
	金額（百万円）		金額（百万円）	
四半期純利益	108,085		70,919	
その他の包括利益（△損失）－税控除後				
外貨換算調整勘定	△ 24,592		11,773	
未実現有価証券評価損益	△ 10,177		9,624	
年金債務調整勘定	1,344		1,700	
未実現デリバティブ評価損益	468		△ 1,955	
合計	△ 32,957		21,142	
四半期包括利益（△損失）	75,128		92,061	
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	1,954		2,979	
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	73,174		89,082	

（第3四半期連結会計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2015年10月 1日 至 2015年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 2016年10月 1日 至 2016年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	478,020	100.0	430,595	100.0
売上原価	344,685	72.1	306,066	71.1
販売費及び一般管理費	84,760	17.7	80,928	18.8
その他の営業収益（△費用）	7,070	1.5	△ 702	△ 0.2
営業利益	55,645	11.6	42,899	10.0
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	940	0.2	999	0.2
支払利息	△ 1,980	△ 0.4	△ 1,843	△ 0.4
その他（純額）	681	0.1	3,113	0.7
合計	△ 359	△ 0.1	2,269	0.5
税引前四半期純利益	55,286	11.6	45,168	10.5
法人税等	15,690	3.3	14,030	3.3
持分法投資損益調整前四半期純利益	39,596	8.3	31,138	7.2
持分法投資損益	707	0.1	1,033	0.2
四半期純利益	40,303	8.4	32,171	7.5
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	1,657	0.3	1,354	0.3
当社株主に帰属する四半期純利益	38,646	8.1	30,817	7.2
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	41.00 円		32.69 円	
希薄化後	40.94 円		32.64 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2015年10月 1日 至 2015年12月31日	当第3四半期連結会計期間 自 2016年10月 1日 至 2016年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	40,303	32,171
その他の包括利益（△損失）－税控除後		
外貨換算調整勘定	△ 6,079	121,995
未実現有価証券評価損益	△ 1,200	8,509
年金債務調整勘定	402	520
未実現デリバティブ評価損益	133	△ 2,250
合計	△ 6,744	128,774
四半期包括利益（△損失）	33,559	160,945
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	2,024	9,181
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	31,535	151,764

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第3四半期 連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	108,085	70,919
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	82,571	77,367
法人税等繰延分	4,843	5,855
投資有価証券売却損益及び減損	△ 3,700	△ 173
有形固定資産売却損益	△ 8,885	△ 592
固定資産廃却損	1,663	1,504
未払退職金及び退職給付債務の増減	934	2,131
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	16,449	8,434
たな卸資産の増減	26,225	△ 39,237
支払手形及び買掛金の増減	△ 30,511	7,319
未払法人税等の増減	△ 20,308	△ 19,495
その他（純額）	32,964	32,559
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	210,330	146,591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 123,281	△ 107,997
固定資産の売却	24,405	13,926
売却可能投資有価証券等の売却	5,125	602
売却可能投資有価証券等の購入	△ 370	△ 107
子会社及び持分法適用会社株式等の売却（現金流出額との純額）	—	5,485
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△ 796	△ 5,905
貸付金の回収	207	9
貸付金の貸付	—	△ 64
定期預金の増減（純額）	△ 1,549	△ 62
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 96,259	△ 94,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	106,828	109,443
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 173,366	△ 112,344
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	12,398	38,299
キャピタルリース債務の減少	△ 533	△ 42
自己株式の売却及び取得（純額）	67	35
配当金支払	△ 54,696	△ 54,711
その他（純額）	△ 3,724	△ 2,326
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 113,026	△ 21,646
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 2,148	△ 3,023
現金及び現金同等物純増減額	△ 1,103	27,809
現金及び現金同等物期首残高	105,905	106,259
現金及び現金同等物四半期末残高	104,802	134,068

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,179,124	38,510	152,883	1,370,517	—	1,370,517
(2) セグメント間の内部売上高	11,247	2,253	1,573	15,073	△ 15,073	—
計	1,190,371	40,763	154,456	1,385,590	△ 15,073	1,370,517
セグメント利益	124,670	10,772	11,993	147,435	△ 457	146,978

当第3四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,071,901	34,318	120,488	1,226,707	—	1,226,707
(2) セグメント間の内部売上高	5,820	1,806	761	8,387	△ 8,387	—
計	1,077,721	36,124	121,249	1,235,094	△ 8,387	1,226,707
セグメント利益	96,546	6,767	6,449	109,762	△ 1,925	107,837

前第3四半期連結会計期間（自 2015年10月1日 至 2015年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	412,123	12,661	53,236	478,020	—	478,020
(2) セグメント間の内部売上高	5,351	789	436	6,576	△ 6,576	—
計	417,474	13,450	53,672	484,596	△ 6,576	478,020
セグメント利益	41,441	3,233	4,460	49,134	△ 559	48,575

当第3四半期連結会計期間（自 2016年10月1日 至 2016年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	376,613	12,027	41,955	430,595	—	430,595
(2) セグメント間の内部売上高	2,465	627	267	3,359	△ 3,359	—
計	379,078	12,654	42,222	433,954	△ 3,359	430,595
セグメント利益	38,928	2,551	2,391	43,870	△ 269	43,601

- (注) 1. 前連結会計年度まで事業セグメントを1) 建設機械・車両、2) 産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を1) 建設機械・車両、2) リテールファイナンス、3) 産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間および前第3四半期連結会計期間の数値を当第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結会計期間の表示に組替えて表示しています。
2. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。
- a. 建設機械・車両セグメント
掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連
 - b. リテールファイナンスセグメント
販売金融
 - c. 産業機械他セグメント
鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他
3. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結累計期間	297,330	486,266	149,540	72,125	257,318	107,938	1,370,517
当第3四半期連結累計期間	273,720	421,341	151,456	78,496	231,349	70,345	1,226,707

前第3四半期連結会計期間（自 2015年10月1日 至 2015年12月31日）および当第3四半期連結会計期間（自 2016年10月1日 至 2016年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結会計期間	110,687	179,329	48,226	23,310	84,238	32,230	478,020
当第3四半期連結会計期間	100,670	144,757	49,990	27,091	84,563	23,524	430,595

（注）※ 日本および中国を除きます。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。